

2022 年度 教育環境改善実施報告

獨協大学では、「2021 年度 学生による教育環境改善のためのアンケート」の結果を受けて、下記のような取り組みを 2022 年度に実施致しました。

—授業に関係する施設・設備等—

<教室（棟）>

2022 年度は天野貞祐記念館 4 階教室と 5 階の共用部分、教室以外では国際交流センターの空調更新を実施しました。これにより、快適性の向上と更なる CO2 の削減が可能となるものと考えています。昨今のエネルギー価格の高騰を受け、光熱費の支出が急増しています。今回の空調更新により、光熱費支出が削減され、教育研究費充実に一助となるものと考えています。

設備的な省エネ化は図っていますが、利用者である学生の皆様のご協力は必要不可欠です。省エネを考慮した設定温度の遵守、夏季および冬季の窓開け等の不要な換気（本学の教室は必要な換気がされています）によるエネルギーロスの抑制にご協力ください。

<図書館>

コロナ禍の特別ルールの下、8 月より、共同学習室・グループ利用席・図書館情報セミナールームの利用を再開しました。今後も感染症拡大状況を注視しながら、利用制限の緩和を進めていきます。

<ICZ>

入口にイベント情報を提供するデジタルサイネージを設置しました。

気軽に入ることができるよう入口付近の掲示を見直し、中がよく見えるようにしました。

室内の椅子の配置を変更し、よりリラックスできるよう配慮しました。

言語圏をより意識できるように装飾を整えました。

—学生生活に関係する施設・設備等—

<学内の食環境について>

2022 年 6 月に実施した「ランチタイム充実に向けてのアンケート」の結果を踏まえ、秋学期から学生センター「スタイルカフェ・スタンド」でパンやお菓子の販売、西棟 1 階ロビーで弁当販売を始めました。

学生食堂では、秋学期から麺類の販売を再開するとともに、防災カレーやクレープなどの特別メニューの日を設けたり、化粧品のサンプル配布などのイベントを行ったりしました。2023 年度もメニューの充実とともに、楽しいイベントの実施を計画しています。

Twitter「獨協キャンパスグルメ」で、学生食堂の月間メニューやイベントの紹介、キッチンカーのおすすめメニューや臨時休業のお知らせを行っています。ぜひフォローをお願いします。

<学生センターについて>

スタジオについて、利用人数の制限に変わりはありませんが、6 部屋を稼働させました。今後、稼働時間を増やすことも検討したいと考えています。

<トレーニングルームについて>

トレーニングルーム利用講習会の日程は **PorTa II** 掲示板でお知らせしていますので、**DOORS** から予約してください。利用講習会を一度受講すれば、卒業まで更新不要でトレーニングルームを利用できます。

トレーニングルームの開室や利用状況は、**Twitter** で随時お知らせしています。利用講習会受講者には、**Twitter** のアカウントをお教えしていますので、フォローをお願いします。

<アルバイトについて>

2022 年 12 月に（株）学生情報センターが運営するアルバイト情報サイト「バイトネット」と本学が提携し、獨協生対象の安全性の高いアルバイトをネット上で紹介するサービスを始めました。利用希望者は、大学 HP（「学生生活」>「アルバイトの紹介」）を確認し、事前登録をしてください。

—窓口—

<学生課>

2022 年 4 月から成人年齢が 18 歳になったことに伴い、新入生対象のガイダンスや配布物を通して注意喚起を行いました。最近は、「就職活動に役立つ」と言って近づいてくる高額セミナーや講座への勧誘被害の情報が届いています。マルチ商法など悪徳商法の勧誘と併せ引き続き注意し、勧誘された場合は学生課に報告・相談してください。

<カウンセリング・センター>

センター主催の講演会「自分との関わり方、人との関わり方 ～ストレスコーピングとアサーションをもとに～」を 11 月に開催しました。こうした機会を通して、カウンセリング・センターの利用促進につなげていきたいと考えています。

「うまく自分のことが伝えられるか不安」「こんな些細なことを相談してもいいのかな」とカウンセリング・センターへの来室をためらっている方もいるかもしれませんが、まずは気軽にドアを開いてみてください。電話でも予約を受け付けています。

<キャリアセンター>

課内全体会、アドバイザーとの意見交換会、障害のある学生支援の研修会や LGBTQ+ 学生支援の研修会を実施し、課全体の窓口の質の向上を図りました。

それぞれのニーズにあったタイムリーな状況提供を行うため、学年ごとに LINE の配信を分けました。また、LINE 登録者全員に対し、就職支援に対する意識調査を実施し、就職支援に繋げました。

<図書館>

未分類資料のオンライン出庫請求について要望をいただいております。図書館では資料受入後、できるだけ早く所蔵情報を利用者に把握していただけるよう、分類やラベル装備などが済んでいない資料も「未整理」として OPAC に公開しています。作業中の資料のため、一律提供が難しくカウンターでの対応としていますが、利用者の声を大切に引き続きサービス向上に努めますので、お気づきの点がございましたら図書館にご意見をお寄せください。

<教育研究支援センター (ICZ) >

4 月に ICZ オリエンテーションを実施しました。

6 月、12 月にアンバサダーが中心となり、外国人留学生と学部学生の交流イベントを企画、実施しました。

また、外国語学習相談を適宜実施しました。

<教育研究支援センター (ヘルプデスク) >

ヘルプデスク入口近辺に設置した立看板については、近辺を通りがかった多くの学生が足を止め見ていただいている光景を多く見かけるようになりました。

特に、Microsoft 365 の多要素認証に関する案内や一定期間オンラインにならなかった場合の機能制限に関する案内については、詳細について窓口を訪問される学生もおり、関心の高さと共に、ヘルプデスクの存在を知っていただけたものと考えております。

<教育研究支援センター (天野貞祐記念館 2 階窓口) >

学内で不便なく PC が利用できるよう、ICT 情報の収集、及び、Microsoft365 利用方法向上・Word や Excel などのスタッフのスキルアップを図りながら、年間を通して窓口サービスの改善に努めました。

<国際交流センター>

4 月～5 月 経済学部・法学部で希望するゼミに対し、国際交流センターツアーを実施しました。

2022 年度は、渡航を伴わないオンラインを活用した短期協定校留学についても単位を認定し、安全かつリーズナブルに参加できる新たな留学形態を提示しました。

・留学成果報告会

10 月に全学生対象として長期留学終了者による留学成果報告会を初めて実施しました。長期留学終了者は 2 回にわたる事後研修への参加を通してまとめた成果・課題・今後のキャリアプランを発表しました。長期留学終了者は参加者からのフィードバックを受けて次のステップに向けての新たな気づきを得ることができ、参加者には留学や海外体験について考える機会を提供することができました。

・交換留学生への対応

留学前準備をより具体的に進められるように次の 3 点を実施しました。

① 学内選考時期を早期化

- ② 各学科国際交流委員が留学直前学期の履修等に関する指導を実施
- ③ 事前研修（２回）の受講を必須化

<エクステンションセンター>

（検定試験等の）申し込みについては、書き方の見本をわかりやすく複数作成し、ミスや時間がかかるのを防ぐように工夫しました。

講座の問い合わせに関しては、より早く確実に返信できるように講座用の新メールアドレスを作成し、担当者に直接お問合せいただけるようにしました。

<学友会>

課員でコミュニケーションを担当する団体区分を決めて、また、メール送信の際は必ず事務課全員が入るグループアドレスを使うことにし、情報共有と質の均一化を図りました。

―履修登録、時間割編成、カリキュラムなど―

履修登録に関するシステム上の問題、とりわけ同時アクセスなどの高負荷によるアクセス不可等について、システム的な対応を実施しましたが、十分な効果を得られませんでした。運用上の対応が取れないか引き続き検討していきます。